

<当院で行う新たなアルツハイマー病治療：抗アミロイド β 抗体薬について>

当院では新たなアルツハイマー病治療薬の抗アミロイド β 抗体薬ドナネマブ（ケサンラ[®]）による治療を行います。「物忘れ」が心配で、当薬剤に興味のある患者さまは、以下の解説を参考にされて当院脳神経外科にお問合せ下さい。

【効能・効果】

アルツハイマー病では神経毒性を引き起こすアミロイドベータ（A β ）の脳内沈着が契機となって、神経細胞やシナプスの破壊が起こり神経細胞死に至ることが発症の原因と考えられています。新薬の抗A β 抗体薬ドナネマブは、A β プラークにのみ存在するとされる N3pG A β に選択的に結合し、ミクログリアによる貪食作用を介して A β プラーク除去を促進すると考えられています。発症機序に基づいて疾患の進行を抑制する薬剤であり、本薬剤により脳のアミロイドプラークを除去し、アルツハイマー病での軽度認知障害および軽度の認知症の進行を抑制することが期待されます。ただし、本剤は疾患の進行を完全に停止、または疾患を治癒させるものではありません。

【対象】

アルツハイマー病による軽度認知障害や軽度認知症と診断された患者さまのうち、PET や髄液検査で A β 病理を示唆する所見が認められた方が対象です。

【用法および用量】

ドナネマブとして 1 回 700mg を 4 週間隔で 3 回、その後は 1 回 1400mg を 4 週間隔で少なくとも 30 分かけて点滴静注します。投与開始後 12 ヶ月を目安に A β プラークの除去が確認された場合は、その時点で投与を完了します。除去が確認されない場合でも、原則最長 18 ヶ月で完了します。本剤投与中は 6 ヶ月毎を目安に認知機能検査、患者さまおよび家族・介護者から自他覚症状の聴取等により臨床症状を評価し、本剤の有効性が期待できない場合は投与を中止します。

【副作用】

注入に伴う反応（8.7%）、アナフィラキシー反応（0.4%）、過敏症（1.2%）として、紅斑、悪寒、悪心、嘔吐、発汗、頭痛などがみられることがあります。またアミロイドに関連した MRI 異常所見 (ARIA) として脳浮腫・滲出液貯留 (24%) や脳微小出血・ヘモジデリン沈着・脳表ヘモジデリン沈着症 (31.4%) の認められることがあります。多くは臨床症状を伴いませんが、頭痛・錯乱状態・めまい・悪心・痙攣・疲労・歩行障害・振戦などがみられることがあります。稀ですが脳

出血（0.4%）がみられることがあります。ARIA の検出と適切な対応のために、
投与前および投与期間中は定期的に MRI を実施致します。

（文責：久門良明）